

Contents *人気設備ランキング *海外不動産節税スキーム *コロナウイルス対応 *コラム

全国賃貸住宅新聞調べ

人気設備ランキングから見る、 成約率向上のカギ。

《インターネット無料》

今や、なくてはならないインフラの一つとなった「インターネット」。賃貸市場でも人気設備ランキングで、単身者向けでは4年連続1位、ファミリー向けでも3年連続1位に「インターネット無料」マンションがランクインしています。

「インターネット無料」サービスは約20年前から市場に出始め、100M（メガ）が一般的になったのがおよそ10年前と言われています。その10年前と現在では相当大きな違いが生まれています。「その違いとは？」今号はそこに注目してみます。

積 梨沙

速度の違い

ひとくちにインターネット無料マンションと言っても、10年前と現在とは大きく異なります。その違いが「速度」です。

現在では、youtube、ネットフリックス、Amazonプライムなど、「動画サイト」が大流行しています。大人に限らず、小学生の将来の夢に「youtube」がランクインするほど、子供にもyoutubeは浸透しています。移動中でも楽しめるようにポケットWiFiを契約して動画やゲームを楽しんだり、NTTの回線を部屋に引き込み、WiFiルーターでそれぞれの部屋で使用することが当たり前になっています。

例えば映画を1本見るには、約20M〜50Mの容量が必要だといわれています。100M契約の場合、一斉に3〜5世帯で動画を見始めると容量を超えるので速度制限がかかりうまく再

生されなくなります。マンションなどの集合住宅の場合、容量を全戸数で分けあうことになるので、使用が集中すると動画以外の用途でも、例えばGoogleで検索するだけでもなかなか進まずストレスとなります。

1G(ギガ)の魅力

ストレスなくインターネットを楽しむには、100Mの10倍の1G(ギガ)が必要だと言われます。入居者の満足を考えれば容量が大きいことにももちろん価値がありますが、1G以上になると空室の募集時に「高速」と広告することができるといった別の価値が生まれます。

最近の空室の問合せでは「インターネット無料と聞きましたが、速度は？」と必ず聞かれるようになってきました。1G以上を導入することで「高速」をアピールすることができるので、まだ導